

令和 6 年 4 月 2 2 日公表

令和 5 年度 第 2 回八王子支社入札監視委員会定例会議議事録

開催日及び場所	令和 6 年 2 月 9 日 (金) 中日本高速道路株式会社 八王子支社 会議室	
出席委員 (敬称略。委員については、50音順。)	委員長：角田 淳 (弁護士) 委員：今川 奈緒 (茨城大学 人文社会科学部 准教授) 並木 則和 (工学院大学 先進工学部 教授) 藤井 浩司 (早稲田大学 政治経済学術院 教授) 村越 潤 (東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 教授) 吉田 純司 (山梨大学 工学部 准教授)	
審議対象期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 1 0 月 3 1 日	
抽出案件	総件数 4 件	(備考)
工事 (一般競争入札)	1 件	
工事 (指名競争入札・見積競争)	1 件	
調査等 (簡易公募型競争入札)	1 件	
工事 (変更契約に関する点検結果の報告・審議)	1 件	
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	(別紙のとおり)	(別紙のとおり)
委員会による意見の具申又は勧告の内容	今回審議に付されたものについて、適正であることを確認した。	

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 入札・契約手続きの運用状況等の報告及び審議 本社契約審査部からの報告及び審議	
意見・質問	回 答
報告内容について意見等なし。	

2. 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
意見・質問	回 答
報告内容について意見等なし。	

3. 抽出案件の審議	
(1) 工事（一般競争入札：総合評価落札方式（簡易型）・見積協議方式）	
工事名：中央自動車道（特定更新等）八王子 J C T～相模湖東 I C間のり面排水施設更新工事（2023年度）	
意見・質問	回 答
<p>確認協議において材料費についてはNEXCOの積算とほとんど変わらない中、なぜ直接工事費の単価が高いのか。施工費が市場の標準的な単価より高くなっているというのは労務費が上がっているということか。</p> <p>材料費も市場価格が上がっていると思うが、それは殆ど変わらない。NEXCOが市場価格を取り込んだ材料費を設定しているからだと思うが、労務費についても同じように現場に合せた設定の仕方はできないのか。</p> <p>場所がかなり特殊ということは分かるが、契約後の協議を行い、適正な形で手続を進めてもらいたい。</p> <p>特定更新が増えていくということで、このような工事がスタンダードになっていくと思うので、</p>	<p>最近の物価高もあり人件費の高騰も含まれていると聞いている。本工事では標準的な市場単価を採用している。今回は法面小段の狭小な作業範囲で行う作業が多く、受注者の方で現地の状況を踏まえて積算を行ったことから、市場単価との差異が出てきているものと認識している。</p> <p>労務単価は、基本的には定期的に市場価格を見直して単価に反映しているが、施工能力については現地の状況によって差異が出てきているということが分かってきている。今回の排水溝の取り替えの関係の労務費についても現地の実態を踏まえ、その市場単価を採用することが適切なのか、事前に見積りを取って採用すべきなのかは、今後、今回の確認協議の結果の状況を踏まえながら確認検討していきたい。</p> <p>八王子支社管内では事業計画として同種工事を全体で8件計画としており、そのうち6件をこ</p>

<p>パターン分けしてやっていくことが良いと思う。</p> <p>基本的には従事している作業者の人数や時間を確認するという理解で良いか。</p>	<p>れまでに発注している。その6件、すべてにおいて契約制限価格を上回り確認協議を行っている。これから随時、現地作業を進めていくことから、施工実態を確認の上、今後の積算に反映していきたい。</p> <p>補足すると積算においては、NEXCO3会社共通の積算要領を使用している。代価については、定期的に現地での実態調査を反映しながら、施工する単位あたりに何人かかるのか調査を実施しているが、更新における小段の排水溝の撤去や新設については、これまでのNEXCOにおける施工実績が少ない状況である。よって来年度以降、現地調査を開始しデータが纏まり次第新たに代価を作るか、または改正するというところで計画し進めているところである。このほか積算要領において、更新にあたる内容について今回は、横方向の排水溝の取り替えだが、縦方向にも排水溝があるので、その代価の作成や、のり面からの湧水箇所のボーリングを行う代価、のり面に布団かごを積み上げる代価等を作成してきている。こういった事業にあたる代価についてNEXCO3会社で作成している。</p> <p>施工する際の作業員の編成がどのような職種が何人いて、どのような作業をどれぐらいの時間で行ったかの記録を取り、その内容を分析し積算に反映している。</p>
<p>(2) 工事 (指名競争入札・見積競争：防災型発注方式)</p>	
<p>工事名：中央自動車道 柳沢橋他6橋橋梁補修工事 (2023年度)</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回 答</p>
<p>防災型発注方式で最初は1橋1橋別々で発注し不調になり、今回まとめて発注しても辞退の会社が多かったということだと思うが、今後も維持管理の観点からこのような工事は重要で件数も増えていくと思う。様々経緯を経て防災型発注方式になったと思うが、それでもほぼ全者が辞退ということで今後もこのようなことが続く可能性がある。今後、もっと取引先に積極的に受注してもら</p>	<p>工事実施の災害応援協定を締結している相手先とこのような事象が起きている。有効な対策としては、「ご協力いただけないか」という声かけを行ったり、近隣の施工者に状況を説明して声掛けしていくしか今のところはないが、例えば緊急事象が発生する前に募集を行うことも並行して計画的にやっていくこととしている。</p>

ための対策は考えているか。

このような工事は、他高速道路会社や他支社でもあると思うが、同じように敬遠されがちな状況か。

事前説明時に、仮設工事の維持が大変だから敬遠されがちだと伺ったが、取引先にリスクに見合うものがあると受けてもらえるのではと思うが、どのような見直しが必要か業者にヒアリング等しているという理解で良いか。

他高速道路会社や他支社がどのような対策を行っているか情報共有されたほうが良いと思う。

仮に、健全性の診断区分のIV緊急措置段階の事象が発生した場合には、どのような対応となるのか。

鋼橋の補修というのは、中央自動車道の特殊、特異なもので、コンクリート工とは違う。また同じ時代に中央自動車道を作っているのに、鋼橋の補修に関しては、情報収集して協力していくような形にしたほうが良いと思う。

他会社の状況は分からないが、防災型発注方式は災害があつて復旧工事を緊急に行わなければいけない状況で計画的な状況ではないので、敬遠されやすいということはある。

今回入札いただいた者に確認したところ、工事規模が大きくなり単位がまとまったということと、偶然にもタイミング的に技術者を配置できる予定ができたということがヒアリングの結果である。

補足すると防災型発注方式と橋梁補修の関係で鋼橋の小補修工事における基本契約方式、「Me^{みまも}守り」と言われている契約方式の2つが、損傷がある場合の契約方式としてある。この方法は、大部分が鋼橋になるので、鋼橋の業界団体である日本橋梁建設協会に契約方法等の説明を行い、会員各位に通知していただくようお願いしている。併せて同協会と2つの契約方式について、改善があればご意見をいただきたいと事務レベルで進めているので、何らかの改善点が具体化すれば、変更・改定を進めていきたい。また他支社における状況としては、災害応援協定を結んでいただく者を増やすための説明会で契約方法について説明会を開催している。今後も情報共有について適時進めていきたい。

緊急的に通行止めを行って対応する。

(3) 調査等 (簡易公募型競争入札：総合評価落札方式)

調査等名：長野自動車道 松本ジャンクション土質調査C I Mモデル作成業務

意見・質問	回 答
<p>この案件だけでなく調査等において、一般に低価格入札が多いが、当初説明いただいた資格停止の中で設計が不十分で契約不履行となった事案があったと思うが、それは低価格入札と関係があるのか。</p> <p>質問の意図としては低価格がゆえに適切な業務ができなくて契約不履行になったのではないか、資格停止の表を見ると、契約不履行が目立つので、低価格と関係があるのかということを確認した。</p> <p>一般にB I Mは建物を建てる時にかなり価格を抑えられ、いろいろな施工のやり方ができるが、C I Mは土木のデータで、ボーリングの精度もあるが、価格が将来的に下がっていくか、合理化されるか、活用する予定はあるのか。</p>	<p>今回の事案は、技術力の関係であり、低入札価格であったから資格停止になったことではないとの認識である。</p> <p>今後、後工程である工事の段階、後は維持管理段階での点検、補修を効率的に行っていく予定である。</p>

(4) 工事 (変更契約)

工事名：中央自動車道 小仏渋滞対策八王子地区工事用道路工事

意見・質問	回 答
<p>報告内容について意見等なし。</p>	

【補足説明及びその他改善検討指示事項等】

意見・質問	回 答
<p>今回の審議案件について、適正であることを確認したが、助言として2点コメントしたい。</p> <p>①中央自動車道は、山岳道路でかつ更新の時期が迫っているところから、入札手続を的確に早急に実施されたい。</p> <p>案件①ののり面排水施設更新工事は、中央自動車道の地形的環境条件を考えると、災害防止の観点で非常に重要である。説明において標準的な市場単価を採用していることから、受注者との価格差が生じているとのことであったが、今後こうした工事の発注が増えるものと考えられるため、円滑な発注に向けて検討をいただきたい。</p> <p>案件②の防災型発注方式の案件において手続に</p>	

時間を要しているが、臨機な対応が求められる工事であり、深刻に考えなければいけない。全社的に防災型発注方式についての検討を進めてもらいたい。

②過去に審議した見積協議方式の案件について、契約後の施工実態の確認状況の説明があり、適切に実施されていることが確認できたのは非常に評価すべきことだと考えている。